

1年部” Where there is a will, there is a way.” より
期末考査が終わり、12月になります。

天草高校一年生になって8ヶ月、一年生の3分の2が過ぎ、残り4ヶ月となりました。今までを振り返っていかがでしょうか？自分の将来を決定する「人生選択の時」、少し大げさにはなりましたが、一番早い人で残りあと1年と9ヶ月余りとなります。

「雛鵬プラン」では、主体性の熟成～行事に流されない意識作り、とあります。冬休みも目前、年が明ければすぐに修学旅行もある訳ですが、今の自分の立ち位置を十分理解して、地道にコツコツと学習を進めていって欲しいものです。

さて、期末考査が終わり結果も出てきているとは思いますが。点数もそうですが、提出物等は大丈夫ですか？もうこちらから言われて提出するような一年生ではないはず。楽をすれば、その分の見返りはどこかで必ず払わなければなりません。もう高校生になって随分経験したでしょ？「主体性の熟成」は進んでいるはず。

いつものことながら、定期考査の見直し、そして6日 (水) 7日 (木) は『県下一斉考査』になります。自分の今までの学力定着を確認しましょう。

2年部より

『・・・私の所へ取材に来る野球記者の中でも優秀な人は、インタビューを録音しながら必ずメモを取る。メモだけでは大切な話を書き漏らすことが不安だが、録音機を使えば、メモなど取らなくてもインタビューを再生することはできる。しかし、質の高い記事にまとめるためには、私と対話した時に、どんな言葉にインパクトを受けたのか、自分は相手のどんな話が印象深かったのか、といったことを自分なりにメモしておくことが必要になる。どちらかと言えばメモが主で、録音機は内容で忘れたことがあった場合の保険のようなものか。私が提案したメモの習慣も、こういうことなのだ。』

(『バッティングの理屈』落合博満 (元中日ドラゴンズ監督) 著 (ダイヤモンド社) より)

皆さんは1年次からフォーサイトを利用し、講演会や面談の度に会場に持ち込んでいますが、効果的なメモが取れていますか？しかもフォーサイトは単なるメモ帳ではなく、皆さんを目標の場所に連れていくための羅針盤のようなもの。自分で目標を立て、そのための計画をし、振り返りをし、そして軌道修正をしていくためのものです。講演や面談に持ち込むのは、そのときに皆さんに起きた“化学反応”を記録し、軌道修正の助けにするためです。期末考査が終われば3年生はもう目の前。フォーサイトを十二分に活用して、学習も部活動も最大の成果を挙げられるよう、利用法の再度見直しを！

未来の夢より過去の経験

3年部 文責 高木 直子

推薦入試や公務員採用試験の面接を受け終わった人もいます。今回は、小論文対策研究会に参加した竹嶋先生の報告と、「面接 ここが重要」(20171106 朝日新聞) を紹介します。

合格できない志望理由書の問題点＝「具体性の欠如」と

「パンフレットへの依存」

「いい志望理由書のポイント」

- ① 具体的であること＝その生徒でなければ書けないもの。
- ② 将来、大学で学びたいことがデザインされている
- ③ パンフレットの引き写しをしない

※具体的な経験、
エピソードは極力
高校時代のもの

※社会で何をしたいために、
大学で何を学ぶかを具体的、
明確に述べる。

※いい志望理由書は
大学を褒めることではない。

志望理由書でも面接でも、将来的な潜在能力は、その人の過去から類推するしかありません。面接で重視するのは「伸びしろ」。今までの人生で何を考え、どう行動して困難を乗り越え、どういう結果を得たかの「過程」が大切。将来何をしたいか、何ができるかではなく、何をやってきたか、考えてきたかのかを語る。未来は、想像で語れますが、過去にウソはつけません。だからこそ、過去を語ることは、説得力があるのです。みなさんが、いつか就職するときにも面接試験があります。ぜひ、次の記事を御一読ください。(20171106 朝日新聞 「知る就活」)



センター試験まであと

43日 (12/1 現在)